

- 都市緑地法第4条に規定されている「市町村の緑地の保全及び緑化の推進に関する基本計画」であり、都市のみどりに関する総合的な計画
- 本計画の計画期間：2035（令和17）年まで（10年間）
- 本計画の対象区域：大阪市全域（広域的なみどりの取組については、周辺都市とも連携を図る）

計画の主な構成

●：計画本編での掲載ページ

P.44~46

今後のみどりのまちづくりを
考える上での重要な視点

各要素に
反映

P.47

基本理念

P.55~57

基本方針

P.72~105

個別取組

P.106~124

リーディングプロジェクト

【共通の観点】SDGsの達成への貢献・グリーンインフラの概念

- 大震災や都市型洪水など都市防災への対応
- 都市における自然環境・生物多様性の保全
- 気候変動への対応や都市環境の改善
- 都市の個性や魅力・風格の向上
- 多様な主体によるまちづくりと連携したまちの価値向上
- みどりの創出・保全と情報の発信・共有
- 一人ひとりのいきいきとした都市生活の実現

「一人ひとりが輝くみどりのまちづくり」 Green Wellness Osaka

みどりの魅力あふれる大都市・大阪
誰もが住みたい・働きたい・訪れたいと
思う「みどりの都市」へ

この基本理念を実現するためには：

【基本方針①】都市を支える健全で快適な
「みどり」を“育む”

都市の中で求められる多様なみどりを確保しながら、公園や道路をはじめとした都市内の樹木を丁寧に育成するなど、都市を支える健全で快適なみどりを育む

【基本方針②】まちの多様な「みどり」を
“活かす”

まちの価値向上が図られるよう、産・官・学・民がそれぞれの目的やニーズに応じて、まちの多様なみどりを自由な発想で柔軟に活用する

【基本方針③】人と人が「みどり」で
“つながる”

一人ひとりの豊かな都市生活（住む、働く、訪れる）の実現に向け、みどりを“育む・活かす”取組をきっかけに、人々が集い交流し、みどりを中心としたコミュニティ醸成につなげていく

みどりの持続的な
保全と機能向上

多様なみどりの創出

柔軟なみどりの活用

エリアやみどりの特性を
踏まえたマネジメント

みどりを介した人と人との
つながりの醸成

それぞれの個別取組を
一体的に推進

みどりに関する
情報・価値の共有と発信

- 計画期間（10年間）のみどりのまちづくりを先導するプロジェクト
- みどりへの興味・関心を高めるプロジェクトと、みどりの満足度向上に向けた好循環を生み出すプロジェクトとして、それぞれ4事業（計8事業）設定



【基本方針①】

“育む”

【基本方針②】

“活かす”

【基本方針③】

“つながる”

① みどりへの興味・関心を高めるプロジェクト

①-A

多くの人に認識される
街路樹・公園樹の景観・
快適性向上

多くの人を訪れる公園や道路などにおいて、
美しい樹形と豊かな緑陰を形成し、景観向
上や空間としての快適性向上を図る



豊かな緑陰形成の
イメージ

①-B

開発に合わせた民有地
緑化の推進

民間開発に合わせて多様なみどりを取り
入れる取組を拡大・展開させ、質の高い
印象的なみどりの創出・育成を図る



民有地緑化の事例
(新ダイビル「堂島の杜」)

出典：社会・環境貢献緑地評価システム (SEGES) HP

①-C

多様な主体によるみどり
空間の幅広い活用

多様な主体による幅広い活用の取組を、
より多くのみどり空間で根付かせること
で、みどりに対する興味や愛着を高める

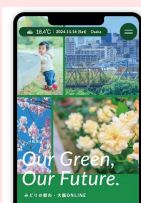


公園活用のイメージ
(パークファン)

①-D

多様なツールを活用した
みどりの情報共有・発信

ポータルサイトやSNSなど、多様な
ツールを活用した情報の共有・発信に
より、みどりを知る・触れる機会を創出



みどりのポータルサイト
(みどりの都市・大阪ONLINE)

② みどりの満足度向上に向けた好循環を生み出すプロジェクト

②-A

市内全域における
街路樹・公園樹の
計画的な保全育成

市内全域の街路樹・公園樹を対象に、植
栽環境に応じた、計画的な維持管理を行
い、健全な樹木の保全育成を推進



計画的な維持管理の
イメージ

②-B

利用者の意見を反映した
公園の魅力向上

利用者の意見を反映させた公園施設の導
入や、機能分担の視点を踏まえた調査
検討・試行により、公園利用を促進する



魅力ある公園施設のイメージ
(複合遊具)

出典：土居川公園HP

②-C

地域・エリアのステーク
ホルダーによるみどり
空間の活用・運営

地域・エリアのステークホルダーが公園
などを活用・運営することで、地域の
課題解決やエリアの価値向上につながる



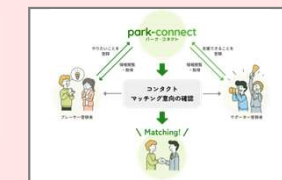
地域主体のイベント事例
(草津川跡地公園)

出典：草津川跡地公園HP

②-D

みどりのまちづくりに
参画・支援する取組の
展開

様々な活動を支援できる仕組みを構築し、
多様な主体による参画・支援の輪を拡大
させていく



公園活用プレーヤーと
サポーターのマッチング
(パーク・コネクト)

Green Wellness Osaka

都市を支える健全で快適な「みどり」を“育み”

まちの多様な「みどり」を“**活かし**”

人と人が「みどり」で“つながる”ことで

住む・働く・訪れる人々が

心身ともに健康で、充実した豊かな暮らしをおくることができる

「一人ひとりが輝くみどりのまちづくり」

Green Wellness Osakaの実現をめざします。



■計画の推進にあたっては、市民、民間の企業・法人、学識、行政の多様な主体がそれぞれの役割を担い、各々の強みを活かしつつ、相互に連携・支援していきます。

■みどりのまちづくり指標を設定し、2030（令和12）年度末の中間評価や、2035（令和17）年の計画改定に活用します。

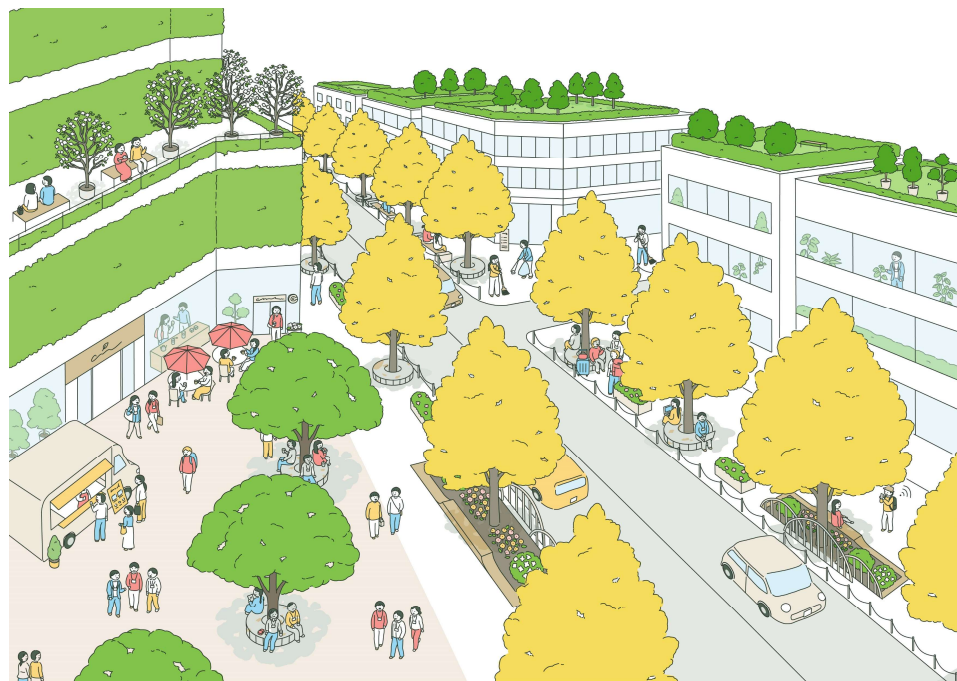


【みどりのまちづくり指標】

種類	内容	項目	基準値	目標値	関係する基本方針		
					育む	活かす	つなげる
成果指標	みどりのまちづくりの成果としてめざす指標	身近なみどりの満足度	37.1%	50%	●	●	●
		みどりが増えたと感じる人の割合	24.3%	33%	●	●	●
		身近な公園の利用頻度	38.0%	45%	●	●	●
達成指標	みどりのまちづくりの中で行政がめざす量的目標値となる指標	緑被率	10.7%	現状以上	●	●	●
		都市公園の市民一人あたり面積	3.5㎡/人	3.7㎡/人	●	●	●
共有指標	みどりのまちづくりの進捗を把握する尺度として、緑化の意識啓発につなげるための指標	緑視率	各地点で測定	—	●	●	●
		地域に身近な都市公園の利用状況	地区公園と近隣公園で測定	—	●	●	●
LP指標	リーディングプロジェクトでめざすアウトプットを示した指標	取組ごとに設定（本編第5章参照）			●	●	●



■「住む人」に身近なみどりのシーン例（地域に身近な都市公園）



■働く人・訪れる人を惹きつけるみどりのシーン例（幹線道路と沿道の空間）